

科目名	地域・在宅医療			ナンバリング	CLI183	授業形態	講義
対象学年	4 年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	1 単位
代表教員	永田隆之	担当教員	吉川真一、古川勉寛、荻原久佳、長谷川祐一、齋門良紀、春山佳代				

授業の概要	在宅での療養生活を支えることは、生老病死という本来の姿の一場面として、在宅での本来の患者および家族の尊厳を尊重するものであるといわれている。地域医療を担当するチームの一員として、基本的な事項を理解し、他職種と協働して、患者と家族の不安に応じて生活を支え、患者と家族の大きな幸せにつなげるための知識を習得することを目的とする。 高齢者の在宅において罹患しやすい疾患について、予防方法や寄り添い方について講義する。						
到達目標	・在宅医療における薬剤師の役割を説明できる。 ・高齢者の罹患しやすい疾患について理解し予防方法や寄り添い方について説明できる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)							
ディプロマポリシーとの 関連	【薬学部薬学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 薬剤師の社会的義務を認識し、医療の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を具現できる。					
		2. 医療分野における問題点を発見して解決するために、研究マインドと知識を統合・活用する力を有する。					
	○	3. 患者本位の医療を実施するために、チーム医療における円滑なコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 地域の医療および保健に貢献するために、薬剤師としての実践的能力を有する。					
		5. 薬剤師として科学と医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学習ができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
在宅医療において薬剤師に求められる役割について説明することができる。	地域包括ケアシステムの中における在宅医療において薬剤師に求められる役割について理解し、発生する諸問題についての解決法を考察できる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート	○	○					60%
授業態度・授業への参加			○	○			40%

課題、評価のフィードバック	ミニッツペーパーによる質問は次の授業冒頭で解説する。
---------------	----------------------------

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	介護保険について (吉川真一)	介護保険と薬剤師のかかわりを解説する。	F-(4)-②-1 F-(5)-①-1,5
	第2回	くすりとADL (吉川真一)	ADLに影響を及ぼす医薬品を説明する。簡易懸濁法について説明する。	F-(5)-①-2,3
	第3回	褥瘡の予防と管理 (荻原久佳)	褥瘡について説明し、予防について解説する。	ア-F-⑦-6
	第4回	転倒と骨折 (齋門良紀)	転倒と骨折について説明し、薬剤の影響などを解説する。	
	第5回	リハビリテーションとの関連 (春山佳代)	地域での介護予防、リハビリテーションについて説明し、閉じこもり、うつ、廃用症候群などの予防について解説する。	
	第6回	在宅医療の現状 (吉川真一、永田隆之、外部講師)	在宅医療の現場で活躍する外部講師が在宅医療の現状を説明する。	F-(4)-②-1
	第7回	認知症① (古川勉寛)	認知症について説明する。	
	第8回	認知症② (古川勉寛)	認知症に対するケアについて説明する。	
	第9回	摂食嚥下障害と口腔ケア (永田隆之)	嚥下について説明、誤嚥などのリスク防止を解説する。	
	第10回	肺炎 (永田隆之)	肺炎についての予防と医療連携について説明する。	
	第11回	排泄について (永田隆之)	排泄について説明する。 排便コントロールについて説明する。	
	第12回	感染対策 (長谷川祐一)	主な感染症について理解する。 標準的予防策など感染対策について他職種との連携も踏まえて解説する。	F-(2)-⑥-4
	第13回	在宅緩和ケア① (長谷川祐一)	在宅緩和ケアについて理解し、がん患者の在宅緩和ケアについて説明する。	F-(1)-③-11 ア-F-⑦-5
	第14回	在宅緩和ケア② (長谷川祐一)	がん以外の疾患での在宅緩和ケアと療養上の留意点について説明する。	F-(4)-②-1,2 B-(4)-②-1
	第15回	地域包括ケアシステムとの関連 (永田隆之)	地域包括ケアシステムと薬剤師業務との関連について説明する。	
	試験	定期試験は実施しない		
授業の進め方		各教員の指示による		
授業外学習の指示		事前調査および復習を行なうこと (授業外学習時間： 毎週 90 分)		

教科書	
参考書	必要時プリント資料配付
参考URLなど	
その他	薬剤師として求められる基本的な資質 ③コミュニケーション能力 ④チーム医療への参画 ⑦地域の保健・医療における実践的能力 アドバンスト:5% 準備教育:40% 大学独自:0%